



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

鏡川流域で「Feel度Walk」を開催しました！

12月16日(土)、鏡川流域関係人口講座の第3期にあたる「かがみがわフェスタ」に合わせて実施した講座の受講生である藤澤佑介さんが、鏡川上流域にあたる高知市土佐山にて「Feel度Walk (フィールドウォーク)」を開催しました！



藤澤さんは、かがみがわフェスタへのエントリーや、まちのコイン「ぼっちり」を活用することで、参加者やスタッフを募集！15人の参加がありました。



まず、地域を自由に散策し、気になったものを写真撮影。道端の植物や看板など、何気ないものが面白く思えてきます。



散策しながら、地域の5つの施設に設置されたQRコードを「ぼっちり」アプリで読み取るスタンプラリーにも挑戦！



達成の記念品として「かがみがわフェスタ」オリジナルトートバッグをプレゼント。



散策後、自分が最も気になったものを模造紙にスケッチし、参加者同士でシェア。鏡川上流域の風景や地域住民の営みに気づき、地域への関心が深まりました。

最後は、関係人口講座2期生発案の「タケノコ食べて放置竹林解決プロジェクト」の協力のもと、参加者でタケノコアヒージョを味わう時間。2期生がこれまで鏡川流域に関わり続け、プロジェクトを進めてきたからこそ、藤澤さんとの素敵なコラボにより、多様な人の多様な関わりが実現しました。



2期生と藤澤さんは、毎週木曜夜のオンライン交流会などで打合せを行い、会場下見などの準備を協力して実施しました！

藤澤さんから感想をいただきました！

見えていなかったものが見え、「なんだこれ、面白い！」というものに気づく中で、自分と皆さんの間にあたたかいつながりを感じました。

また、土佐山在住の参加者から、「鏡川の源流域で自然を生かして暮らしてきた先人たちが微笑んでくれていると思います」という感想をいただき、今ここにあるものを面白がるのは、先人の営みを愛でることでもあるのか、と気づきました！

皆さんが色々な側面から支え、盛り上げてくれたおかげです。地域に継続的に通いたいという思いが強くなりました！



藤澤さんのnoteもぜひご覧ください



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone

Android